

「進化論」の萌芽



ハインリヒ・ラムベルクによる『魔弾の射手』第2幕用の舞台スケッチ。右上におわすのが噂の「悪魔」ザミエル様です

自然科学者ダーウィンは、ケンブリッジ大学卒業後、測量船「ビーグル号」に乗船、南アメリカ大陸や南太平洋などを巡りました。

各地の地質や動植物などをつぶさに観察した5年間の調査記録は、『ビーグル号航海記』としてまとめられました。この航海で立ち寄ったガラパゴス諸島での体験が、「進化論」着想の原点になったと言われています。

さて『ビーグル号航海記』では、各地で出会った原住民についても記録されています。特にフエゴ島での多くの部族との出会いは、若きダーウィン君にはかなり衝撃的だった模様。「これまで見た最も奇妙で興味深い光景」「『魔弾の射手』(ウェーバーのオペラ)に出てくる悪魔そっくり」などと、それぞれの部族について饒舌に書き残しています。彼が出会ったと思われる部族のほとんどは、現在は絶滅し、もう会うことはできません。しかし、ウスアイアにある「世界の果て博物館」に写真や資料が残されている他、Web上でもその姿を見ることができます。ダーウィンも目撃したかもしれない衝撃の姿は必見です…！

「ナポリを見てから死ね！」



三十代頃と思われる
ゲーテの肖像

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ (1749～1832)。

『若きウェルテルの悩み』『ファウスト』や、多くの詩作で知られる、ドイツの文豪…であることはご存じの通りですが、実は彼にはワイマール公国の重要閣僚としての一面もありました。

政務に忙殺され、思うような詩作ができないことに悩み、更に年上の人妻との叶わぬ恋に疲れ果てていた三十代後半のゲーテ。彼は、ままならない現状を打破するため、イタリア旅行を計画。その記録が、『イタリア紀行』です。

『イタリア紀行』には、彼の好奇心そのままに、旅の様子が生き生きと描写されています。特に憧れの地であるローマ(早く到着したいが為、フィレンツェ滞在はたったの三時間だったほど!)やナポリでの様子は、ローマ到着を「我が青春の夢」と感激し、ナポリを絶賛し、ヴェスビオ火山には三度も上り…と、彼の情熱が激しくほとばしっています。詩などの作品からは想像もつかないはしゃぎっぷりは、是非『イタリア紀行』でご確認ください。

なお、「ナポリを見てから死ね」という言葉は、ゲーテがこの本に記したことで有名になったと言われていますよ。

青森県立図書館 参考郷土室

〒030-0184

青森市荒川字藤戸 119-7

電話：017-729-4311

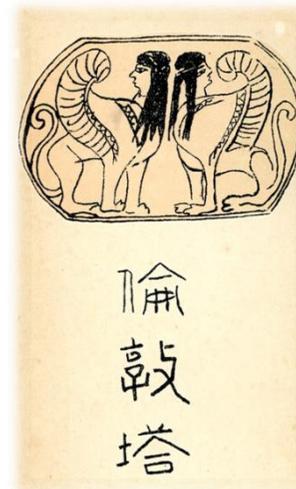
FAX：017-762-1757

<http://www.plib.pref.aomori.lg.jp>

あの人も、旅した。

～意外?にもアクティブだったお馴染みの方々～

小説家、詩人、哲学者…。図書館に並ぶ様々なジャンルの執筆者達のなかでも、何となく、机にかじりついているイメージ(?)の彼ら。そんな彼らのイメージをくつがえすような本たちをご紹介します。



『倫敦塔』(夏目漱石著)の表題紙の一部。

明治33(1900)年。文部省より英語研究のため、英国留学を命ぜられた夏目金之助(漱石)。

不慣れた異国の地での生活は、胸に落ちない留学理由や学費の問題も相まって、不愉快の連続だったようです。神経衰弱を患いながらの留學生活は、最終的に「漱石発狂」の噂まで飛び交う始末でした。

それにしても、いくら苦勞したからって「倫敦に住み暮らしたる二年は尤も不愉快の二年なり」って、ちょっと文句多すぎですよ、苦沙弥先生！

青森県立図書館 参考郷土室

2013(2016改) 次

あの人も、旅した ～意外?にもアクティブだったお馴染みの方々～

あの人の旅した道を、本で辿る。「外っ国の旅人たち」

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
ビーグル号航海記 新訳 上・下	チャールズ・R. ダーウィン/著	平凡社	2013	402.9 ダ-ウィン*チ	10214473624 10214482591
旅行記作家マーク・トウェイン 増補 知られざる旅と投機の日々	飯塚英一/著	彩流社	2012	930.268 トウエ-ソマ 2012	10214345092
旅するモンテニユ 十六世紀ヨーロッパ紀行	斎藤広信/著	法政大学出版局	2012	950.258 モンテ-ニユ*ミ	10214361858
ゲーテ『イタリア紀行』を旅する	牧野宣彦/著	集英社	2008	945.6 ゲ-テ*ヨ	10213800104
スタンダール氏との旅	臼田紘/著	新評論	2007	950.268 スタンダ-ル	10213675720
モーツァルトの手紙	高橋英郎/著	小学館	2007	762.346 モ-ツァルト*ウガ	10213594170
旅は驢馬をつれて	R. L. スティヴンソン/著	みすず書房	2004	935.6 スティ-ヴン*ソ	10213333023
旅するニーチェリゾートの哲学	岡村民夫/著	白水社	2004	134.94 ニ-チェ*フ	10213183575
地球を駆けめけたカリフォルニア作家 改訂 写真版ジャック・ロンドンの生涯	ラス・キングマン/著	本の友社	2004	930.278 ロンド*ソウガ	10213168753
イノセント・アプロード 聖地初巡礼の旅 上下	マーク・トウェイン/著	文化書房博文社	2004	935.6 トウエ-ソマ	10213151879 10213151880
マイケル・ペイリンのヘミングウェイ・アドベンチャー	マイケル・ペイリン/著	産業編集センター	2001	930.278 ヘミン*ウエイ	10212642627
どうして僕はこんなところに	ブルース・チャトウィン/著	角川書店	1999	935.7 チャトウィン*ウガ	10212344979
さあ、あなたの暮らしぶりを話して クリスティーのオリエント発掘旅行記	アガサ・クリスティー/著	早川書房	1992	935 クリスティ*マ	10210443369

あの人の旅した道を、本で辿る。「日出づる国の行きて帰りし旅人たち」

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
文豪の漢文旅日記 鷗外の渡欧、漱石の房総	森岡ゆかり/著	新典社	2015	919.6 モリ*オ	10214647297
風さん、高木さんの痛快ヨーロッパ紀 彬光「飛びある記」と風太郎「未発表旅日記」	山田風太郎/著 高木彬光/著	出版芸術社	2011	915.6 ヤマダ*フ	10214245656
オーパ! 直筆原稿版	開高健/著 高橋昇/写真	集英社	2010	915.6 カイコウ*フ	10214116104
旅する力 深夜特急ノート	沢木耕太郎/著	新潮社	2008	915.6 サキ*コ	10213762977
渋沢竜彦のイタリア紀行	澁澤龍彦/著 澁澤龍子/著 小川熙/著	新潮社	2007	910.268 シバ*ウキ	10213707620
漱石と不愉快なロンドン	出口保夫/著	柏書房	2006	910.268 ナツメ*リ	10213518782
荷風とニューヨーク	末延芳晴/著	青土社	2002	910.268 カガ*イカ	10212819763
伝説の旅人 1841-1974 国境を越えた56の魂	平野久美子/編 文芸春秋「ノーサイド」/編	文春ネスコ	2001	281.04 デンセツ*ナ	10212668489
林芙美子巴里の恋	林芙美子/著 今川英子/編	中央公論新社	2001	915.6 ハヤシ*フ	10212685837
旅の図書館	高田宏/著	白水社	1999	902.5 タカダ*ヒ	10212420678

※紹介している本は、多くの資料の一部です。お探しの資料が見つからない場合には、職員にお尋ねください。